

活字ひろい 植字(製版)
印刷から解説(活字返し)
に至るまでの作業をつづけ
ながらの発行なので、なに
かと欠陥だらけの新聞であ
りますのに、このように細
々ながらでも発行をつけ

員長)では一月十七、八の
両日にかけて、前町長の高
橋安蔵氏ら七名を証人とし

このスケジュールは暮の
十九日にひらかれた第三回
目の同特別委内定したも
ので、証人として出頭を求
められる七名の人々の立場
と事情はつきのよう関係
とみられています。

川上貞通氏

川上氏は昭和三十年三月
三十一日まで西足寄町長で
あつて翌日の四月一日から
足寄村と合併した新生足寄

十五年目の新春を迎えて

(1) 昭和二十九年にこの地帯で
読者各位のご指導ご支援の
たまものと厚くお礼を申し
あげます。

(2) 新聞としてスタートしたも
のでありますから、あくま
でも大衆の側に立つて各々
の町政にとりくんでいるた
めに、従つてときには町の
ところもありますがいうと
お氣に召さない記事となる

（3）本紙はこの地帯の大衆政治
の発展に役立ちたいもの
と思っています。

（4）が常のよう、大新聞のロ
ーカル版となると、社会の
問題を発表するなどは新聞で
ないといして問題にしない

（5）木タクシとかクルマの帝王
全国的、全道的規模の新聞
くんでいることによつて
この地帯の問題点を常に
逆に中央に影響をあたえ
ゆくような機能をもつ
それが地域の問題にとり



(発行所) 北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話 1355番
本紙購読料 1部 25円 1カ月 75円
1カ月前納 750円

足寄町議会の役場庁舎敷地調査特委員会(斎藤昇委員長)

では一月十七、八の両日にかけて、前町長の高橋安蔵氏ら七名を証人とし

足寄町役場敷地問題 特別委が換問調査へ

足寄町役場敷地問題